

ShawContract®

商用レジリエント製品施工ガイドライン 一般情報

感湿床仕上げ材を貼るすべての基板には、適切な湿度検査が必要となります。

Shaw の最大湿度・pH値要件を満たすまたは上回るセメント系パッチング材/レベリング材をご使用ください。ポルトランドセメントまたは高アルミナセメントを含有し、圧縮強度 3,000 psi 以上の石膏ベースのパッチング材および/またはレベリング材をご使用ください

1インチ (2.54 cm) 以上の深さの亀裂や切断部については、Shaw QuikFill の準備および使用方法に従ってください。Shaw QuikFill は、厚板表面の将来的な損傷を防止する2部構成のウレタン処理です。接着剤や非公認のパッチング材を破壊・分解する恐れのある水分の浸透を防ぎます

レジリエント床仕上げ材の施工は、他の作業がすべて完了するまで開始不可とすることが推奨されています。

材料は施工前に必ず目視点検する必要があります。瑕疵が視認できる状態で施工されたいかなる材料も、人件費に関係があることから、正当な苦情とはみなされません

基板に対する接着剤の親和性を測定するため、粘着試験を実施します

保管および取り扱い

すべてのロールを立てて保管します。ロールを長時間横たえた状態に「しない」でください。

1色以上が使用されたロールを施工する場合、材料はすべて同じバッチのものである必要があります。また、ロールは連続した順序で施工しなければなりません。1つ以上のバッチから材料を使用する場合、異なるバッチ番号のロールが並んで施工されないよう配列した上で作業する必要があります

床材と接着剤は、最低でも施工の48時間前から施工エリアに馴染ませる必要があります

タイルまたは板製品の箱は、それぞれの箱に水平かつ安定した状態で重ねて保管してください。可能であれば、材料は施工エリアの「中心」（例：通気孔、直射日光などから離れた場所）に置いてください。直射日光の当たる場所に箱を保管すると、熱膨張や収縮を引き起こし、適切に馴染まなくなる場合があります

作業現場でパレットに乗せる場合は、ビニル板またはタイルの箱を間に隙間ができないよう2段に積み重ねる必要があります。その後、クォーターパレットに2段づつ並べます。高さは12箱を超えないようにしてください。また、最初に、厚さ5/8インチ (127 mm) 以上の合板をパレット上に設置する必要があります

パレット間に厚さ1インチ (25.4 mm) の合板を使用しない限り、2つのパレットを積み重ねないでください

現場条件

床材を敷くエリアは、施工プロセスのすべての段階において、施工に適切な照度を確保している必要があります。施工には作業環境の管理が不可欠です。温湿度管理には、正常に機能する冷暖房空調システムが確実に最適です

「作業エリアで温度管理が行えるようになるまで、レジリエント床製品の施工は行わないでください。」

施工前7日間以上、施工中および施工後は、常設の冷暖房空調システムを65°F (20°C) 以上または85°F (30°C)以下に設定し、常に機能および稼働させる必要があります。施工完了後は、温度が85°F (30°C) 以上にならないようにします

Corporate Headquarters +1 800 257 7429 | +1 706 532 7984 | Atlanta +1 404 853 7429 | Bengaluru +91 80 6773 0202 | Beijing +86 10 6568 5881 | Chicago +1 312 467 1331 | Dallas +1 972 587 4548 | Dubai +971 4 584 6956 | Hong Kong +852 2623 0371 | Latin America (Miami) +1 305 827 5912 | London +44 (0) 207 961 4120 | Los Angeles +1 800 233 2190 | Melbourne +61 3 9008 4401 | Mexico City +52 5010 7681 | Mumbai +91 22 6284 5050 | Nantong +86 400 800 7429 | Netherlands +31 20 26 20 955 | New York +1 212 953 7429 | Paris +33 181 224439 | San Francisco +1 415 955 1920 | Santiago +562 2431 5000 x 550 | São Paulo +55 11 3071 1702 | Shanghai +86 21 3338 4000 | Singapore +65 6733 1811 | Sydney +1 800 556 302

ShawContract®

下張り床に関する情報

注記：レジリエント床材を貼る基板はすべて、構造的に安定しており、清潔かつなめらかで乾燥した状態である必要があります。基板はホコリ、溶剤、ペイント、ワックス、油、グリース、接着剤の残滓、接着剤除去剤、養生剤、シーリング材、硬化/離型剤、アルカリ塩、過度の中性化層/レイタンス、カビ、白カビ、並びに接着剤の接着効果を低下させるいかなる異物も付着していない状態でなければなりません。

木製下張り床

木製下張り床は構造的に安定しており、各地域が定める建築基準法を遵守していなければなりません。

床システム全体の交換を保証する保証書付きで、レジリエント床材の下に敷くことができるよう設計された APA 下張り等級パネルをお選びになるよう推奨しています

二層 APA 等級の合板製下張り床は全体の厚さが1インチ (2.5 cm) 以上で、床下に18インチ (45.8 cm) 以上の非常に通気の良い隙間がある必要があります

床下空間は地面を防湿材で覆い、断熱・保護してください

下張り床材として、パーティクルボード、チップボード、フレックボード、OSB、ハードボードやこれらの類似製品を使用することは推奨されていません。APA 1/4インチ下張り等級パネルを追加で敷く必要があります

コンクリート上に枕木を直接施工した下張り床や、コンクリート上に直接敷かれた木製下張り床の上には施工「しない」でください

下張りパネルはレジリエント床材を接着する下張り床表面をなめらかかつ堅固なものにしますが、軽微な不備しか補正できません

下張りパネルの性能上の不具合の責任はパネル製造業者にあり、Shaw Industries, Inc はその責任を一切負いません

SHAW レジリエント床材を難燃処理した合板または防腐処理をした合板の上に直接施工することは推奨されていません

合板の処理に使用される物質は、接着効果に問題を生じさせる場合があります。厚さ3/4インチ (6.35 mm) のAPA 等級下張りを追加で敷く必要があります

必ず下張り製造業者の施工上の指示に従ってください

ストリップ - 厚板床材

季節的变化により個々のボードに膨張/収縮が起こるため、これらのタイプの下張り床材の上に、厚さ1/4インチ (6.35 mm) 以上の APA 等級下張りパネルを敷く必要があります

コンクリート上に直接敷かれた木製床材は、下張り床として認められ「ません」

コンクリート製下張り床

「新しいまたは既存のコンクリート製下張り床は、ACI 302 最新版および American Society for Testing and Materials (住所：100 BARR HARBOR DRIVE, WEST CONSHOHOCKEN, PA 194 28、TEL：610-832-9585、HT T P://WWW.ASTM.ORG.) が提供するASTM F 710「Standard Practice for Preparing Concrete Floors to Receive Resilient Flooring (レジリエント床材を敷くコンクリート製フロアの準備に関する標準的技法)」最新版の基準を満たす必要があります」

すべてのコンクリート基板は、ASTM F 2170 に従って IRH (Internal Relative Humidity：内部相対湿度) の検査を行う必要があります

Corporate Headquarters +1 800 257 7429 | +1 706 532 7984 | Atlanta +1 404 853 7429 | Bengaluru +91 80 6773 0202 | Beijing +86 10 6568 5881 | Chicago +1 312 467 1331 | Dallas +1 972 587 4548 | Dubai +971 4 584 6956 | Hong Kong +852 2623 0371 | Latin America (Miami) +1 305 827 5912 | London +44 (0) 207 961 4120 | Los Angeles +1 800 233 2190 | Melbourne +61 3 9008 4401 | Mexico City +55 5010 7681 | Mumbai +91 22 6284 5050 | Nantong +86 400 800 7429 | Netherlands +31 20 26 20 955 | New York +1 212 953 7429 | Paris +33 181 224439 | San Francisco +1 415 955 1920 | Santiago +562 2431 5000 x 550 | São Paulo +55 11 3071 1702 | Shanghai +86 21 3338 4000 | Singapore +65 6733 1811 | Sydney +1 800 556 202

ShawContract®

基板はなめらか、清潔、乾燥した状態で構造的に安定しており、ホコリ、ワックス、溶剤、ペイント、グリース、油、古い接着剤の残滓、養生剤、硬化剤、シーリング材、並びに接着剤の接着効果を妨げる恐れのあるいかなる異物も付着していない状態でなければなりません

地盤面または地下スラブは、スラブの直下に有効な防湿材を敷かなければなりません

新たなコンクリートを養生する場合は、7日間の湿潤養生工法が推奨されています

養生剤（使用禁止）養生剤が存在すると、コンクリートに対する接着効果を妨げる恐れがあります。養生剤が検知された場合は、基板製造業者にご相談ください

コンクリートが乾燥し始めるよう、設置28日後に養生剤を除去してください

コンクリート床は水平かつなめらかな状態で、6フィート（183 cm）で1/8インチ（3.1 mm）、10フィート（305 cm）で3/16インチ（4.75 mm）である必要があります

床面仕上がり精度の評価法：レジリエント床仕上がり材には、FF 36/FL 20 の全体値が適切だと考えられます

コンクリート内の膨張目地および分離目地は、コンクリートの膨張および収縮を考慮に入れて設計されています。レジリエント床製品は、決して膨張目地の上に施工してはいけません。レジリエント床材用の膨張目地カバーを使用する必要があります。誘発目地（ノコギリによる切断部）は、コンクリート全体の養生および乾燥が完了して馴染んだ後、レジリエントで塞いだり、カバーすることができます

Shaw の保証の適用には、AST M F 2170 IRH（内部相対湿度）検査は必須です。最大1000平方フィート（92.9 m²）のエリアに検査を3つ実施しなければなりません。1000平方フィート（92.9 m²）増えるごとに、検査を1つ追加で実施します。4100 接着剤/S150 では湿度 95% RH 以下、4151 接着剤では湿度 99% RH 以下でなければなりません

コンクリート床は、最新版の AST M F 710 で検査を実施する必要があります

注記：「検査を3つ実施する責任は床仕上がり材の施工者が負わない場合がありますが、これらの検査が実施されたことおよび施工前に検査結果が基準を満たしていることを確認する責任は当該施工者が負うものとします。湿度検査を実施した際の結果は、検査時の状態のみを示すものです。」

軽量コンクリート

レジリエント床材下の軽量コンクリートの適性および性能に関するいかなる推奨事項および保証に対する責任も、軽量コンクリート製造業者が負うものとします。軽量コンクリートの施工者は、製造業者による承認または認定が必要となる場合があります。現場では、正確な混合比と適切に機能するポンプ設備が不可欠です。適切な混合物を確保するため、スランブ試験が推奨されています。

1立方フィート当たり90ポンド（40.8 kg）以上の乾燥密度を有する軽量骨材コンクリートは、レジリエント床材の下にご使用いただけます

重度の静荷重および/または動荷重を伴うコンクリートスラブは、その荷重を支えられるよう強度および密度を増加させて設計する必要があります

表面は永久的に清潔かつなめらかで乾燥しており、いかなるホコリも付着していない状態で構造的に安定していなければなりません

Corporate Headquarters +1 800 257 7429 | +1 706 532 7984 | Atlanta +1 404 853 7429 | Bengaluru +91 80 6773 0202 | Beijing +86 10 6568 5881 | Chicago +1 312 467 1331 | Dallas +1 972 587 4548 | Dubai +971 4 584 6956 | Hong Kong +852 2623 0371 | Latin America (Miami) +1 305 827 5912 | London +44 (0) 207 961 4120 | Los Angeles +1 800 233 2190 | Melbourne +61 3 9008 4401 | Mexico City +55 5010 7681 | Mumbai +91 22 6284 5050 | Nantong +86 400 800 7429 | Netherlands +31 20 26 20 955 | New York +1 212 953 7429 | Paris +33 181 224439 | San Francisco +1 415 955 1920 | Santiago +562 2431 5000 x 550 | São Paulo +55 11 3071 1702 | Shanghai +86 21 3338 4000 | Singapore +65 6733 1811 | Sydney +1 800 556 302

ShawContract®

基板に対する接着剤の親和性を測定するため、粘着試験を実施してください。接着促進に、Shaw 9050 プライマーをご使用いただけます

最大1000平方フィート (92.9 m²) のエリアに内部相対湿度検査を3つ実施する必要があります。1000平方フィート (92.9 m²) 増えるごとに、検査を1つ追加で実施します

放射暖房

放射暖房：放射下張り床暖房システムはコンクリート、木材またはその両方を組み合わせたものにすることができます。

暖房システムの部品は床製品から1/2インチ (12.7 mm) 以上離れていなければなりません。システムは残留水分を減少させるため、施工前に電源を入れて2週間以上稼働させる必要があります。施工の3日前に温度を65°F (18°C) まで下げ、過熱を避けるために施工後に5°F (2.8°C) ずつ温度を徐々に上げていきます。最大動作温度は85°F (29.4°C) を超えないようにしてください。過熱を避けるため、床内温度センサーの使用を推奨しています詳細な推奨事項については、ご使用になる放射暖房システムの製造業者にお問い合わせください。

電気式床暖房：床仕上げ材の下に取り付けられた電気ケーブル（または）導電性材料マットで構成されています。通常、メッシュシステムが貼物下地内に埋められています。システムの部品を組み込む際は、Shaw の最大湿度・pH値要件を満たすまたは上回るセメント系パッチング材またはレベリング材をご使用ください。ポルトランドセメントまたは高アルミナセメントを含有し、圧縮強度 3,000 psi 以上の石膏ベースのパッチング材および/またはレベリング材をご使用ください

温水式床暖房：床下に一定のパターンで敷設された管を通して、ボイラーから温水を循環させます。通常、木製下張り床の下に溝に敷設される（または）コンクリートスラブ内に埋められています。暖房システムへの貫通を避けるため、施工者が特定のパターンに従って釘打ちを行う必要があります

警告！「既存レジリエント床材、バックング材、補強フェルト、アスファルト系「カットバック」接着剤またはその他の接着剤を研磨する、乾いた状態で掃き掃除する、乾いた状態で擦過する、穿孔する、ノコギリにより切断する、もしくは器械により削るまたは粉碎するのはおやめください。」

これらの製品は、アスベスト繊維および/または結晶シリカを含有している場合があります。粉塵を発生させないようにしてください。当該粉塵の吸入は癌または呼吸器疾患を引き起こす恐れがあります。アスベスト繊維にさらされた個人による喫煙は、人体に深刻な危害を及ぼす危険性を大幅に増加させます。製品がアスベスト非含有材料であると絶对的に確信していない限り、製品がアスベストを含有していると見なす必要があります。規制により、製品にアスベスト含有量を測定する検査の実施が必要となる場合や、材料の撤去および処分が適用される場合があります。レジリエント仕上げ用構造物の除去に関する詳細情報および方法については、Resilient Floor Covering Institute (RFCI) 発表の「Recommended Work Practices for Removal of Resilient Floor Coverings (レジリエント床仕上材の除去に関する推奨作業方法」最新版をご参照ください。最新情報については、www.rfci.comをご確認ください。

既存の床仕上げ材

レジリエント床仕上げ材：

単層かつクッション裏地不使用、完全固着済でなめらかな状態でなければなりません

湿気やアルカリ性の形跡が一切ない状態である必要があります

Corporate Headquarters +1 800 257 7429 | +1 706 532 7984 | Atlanta +1 404 853 7429 | Bengaluru +91 80 6773 0202 | Beijing +86 10 6568 5881 | Chicago +1 312 467 1331 | Dallas +1 972 587 4548 | Dubai +971 4 584 6956 | Hong Kong +852 2623 0371 | Latin America (Miami) +1 305 827 5912 | London +44 (0) 207 961 4120 | Los Angeles +1 800 233 2190 | Melbourne +61 3 9008 4401 | Mexico City +55 5010 7681 | Mumbai +91 22 6284 5050 | Nantong +86 400 800 7429 | Netherlands +31 20 26 20 955 | New York +1 212 953 7429 | Paris +33 181 224439 | San Francisco +1 415 955 1920 | Santiago +562 2431 5000 x 550 | São Paulo +55 11 3071 1702 | Shanghai +86 21 3338 4000 | Singapore +65 6733 1811 | Sydney +1 800 556 302

ShawContract®

ワックス、研磨剤、グリース、汚れおよび油が除去されていなければなりません

既存床仕上げ材に切り込み、亀裂、穴、へこみおよび他の凹凸がある場合、修繕または交換する必要があります

適切な接着の補助およびテレグラフィック防止に、エンボス加工レベラーが推奨されています

ゴム系基板の上には施工しないでください

注記：「既存の床仕上げ材がレジリエントで上から施工するのに適しているか否かを判断する責任は、現場の施工者/床工事請負業者が単独で負うものとします。適性について疑義がある場合には、既存の床仕上げ材を取り外すか、その上に基準に合った下張りを敷く必要があります。既存の床仕上げ材の上からの施工は、圧入による影響をより受けやすい場合があります。」

クォーリータイル、テラゾー、セラミックタイル、塗り床（エポキシ、ポリマー、シームレス）：

完全に硬化した状態であり、コンクリートに良好に接着していなければなりません

溶剤および石油派生物のいかなる残滓付着していない状態でなければなりません

ワックス、研磨剤、グリース、汚れおよび油が除去されていなければなりません

湿気やアルカリ性の形跡が一切ない状態である必要があります

既存床仕上げ材に切り込み、亀裂、穴、へこみおよび他の凹凸がある場合、修繕または交換する必要があります

新たな床材上に形成および伝播されそうなすべてのへこみ、穴、欠損部および継ぎ目は埋める必要があります

高度に艶出しされた表面または不規則/なめらかな表面を研磨します

クォーリータイルやセラミックタイルの目地モルタル部およびテクスチャード加工の表面は、エンボス加工レベラーまたは基板製造業者が認定する製品を使用して埋めなければなりません

古い接着剤の残滓

接着剤の残滓がアスファルト系（カットバック）のものである場合、または接着剤の種類に関わらず残滓が残っている場合、以下の2種類の方法の内、どちらかを用いて処理する必要があります：

ビードブラストまたはスカリファイヤの機械で取り除きます

セルフレベリング性ポルトランド系下張りをカットバック残滓の上に貼る適性、使用方法および保証については、基板製造業者にご確認ください

古い接着剤の残滓の除去に、溶剤やシトラス系接着剤除去剤は絶対に使用しないでください。下張り床内/上に残った溶剤の残滓が、新しい接着剤と床仕上げ材に影響を及ぼす場合があります

接着剤

下地保証を受けるためには、施工された製品の下地用途としての使用（製品仕様書を参照）が認められており、S150、4100 or 4151を使用して施工されていなければなりません。

SHAW 4100 / 4151

施工者が手軽に使えるプレミアム高強度（非染色）アクリル接着剤で、SHAW 床材を永久的に取り付けるよう設計されました。

地盤面、地上、地下など、すべての床面の高さのコンクリートに使用できます。また、過度の湿気を含まない床材や、認定された木製吊床にもお使いいただけます。

Corporate Headquarters +1 800 257 7429 | +1 706 532 7984 | Atlanta +1 404 853 7429 | Bengaluru +91 80 6773 0202 | Beijing +86 10 6568 5881 | Chicago +1 312 467 1331 | Dallas +1 972 587 4548 | Dubai +971 4 584 6956 | Hong Kong +852 2623 0371 | Latin America (Miami) +1 305 827 5912 | London +44 (0) 207 961 4120 | Los Angeles +1 800 233 2190 | Melbourne +61 3 9008 4401 | Mexico City +55 5010 7681 | Mumbai +91 22 6284 5050 | Nantong +86 400 800 7429 | Netherlands +31 20 26 20 955 | New York +1 212 953 7429 | Paris +33 181 224439 | San Francisco +1 415 955 1920 | Santiago +562 2431 5000 x 550 | São Paulo +55 11 3071 1702 | Shanghai +86 21 3338 4000 | Singapore +65 6733 1811 | Sydney +1 800 556 502

ShawContract®

注記：適切に接着剤を塗布するには、塗布するエリアに沿って白のチョークラインを引いてください。均一かつ直線状に接着剤を塗布することができます。1/16インチ（幅）x 1/32インチ（深さ）x 5/64インチ（間隔）（1.6 mm x 0.8 mm x 2.0 mm）のクシ目鋺を使用し、片側のチョークライン上に接着剤を乗せ、もう片方のチョークラインに向けて伸ばします。接着剤がチョークラインからはみ出た場合は、はみ出た分を取り除く必要があります。（接着剤を重ね「ない」でください。）- 接着剤を既に塗布したエリアの上から新たな接着剤を塗布すると、接着剤の不均一な形体が床材上に形成・伝播される原因となる場合があります。接着剤の塊や隆線は、そのままの状態では放置しないよう十分にご注意ください。

多孔質基材：レジリエント床材は、10分～20分のオープンタイム後、接着剤の中に置くことができます。接着剤が不透明な色から透明に変わってきたら、レジリエント床材を接着剤に取り付けてください。床材を取り付けた直後に100ポンド（45.3 kg）のローラーをかけ、床材が接着剤と確実に完全に接触するようにします。接着剤の作業時間を超過「しない」でください。

非多孔質基材：鋺による接着剤の隆線が床材上に形成・伝播されるのを防止するため、接着剤を鋺で広げた後、バックロールしてください。接着剤が8割方透明になったら（触ると乾燥した感触で、粘着質だが指に最小限しか付着しない状態）、レジリエント床材を接着剤に取り付けます。通常、この状態まで乾くには推奨施工温湿度で30～45分ほどかかります。接着剤の作業時間（接着剤のラベルを参照）を超過「しない」でください。

床材を取り付けた直後に100ポンド（45.3 kg）のローラーをかけ、床材が接着剤と確実に完全に接触するようにします。
重要：感圧接着剤として Shaw 4100 を使用「しない」でください。接着剤の作業時間内に床材を取り付けない場合、接着効果がなくなる可能性があります。接着剤に「皮状のもの」が張った状態にしたり、乾燥させ「ない」でください。オープンタイムを取りすぎると接着不良を引き起こし、鋺による接着剤の隆線が床材上に形成・伝播されるのを助長する場合があります。
基板に対する接着剤の親和性を測定するため、粘着試験を実施してください。接着促進に、Shaw 9050 プライマーをご使用いただけます。

注記：オープンタイムと作業時間は温度、湿度、基板の多孔率、鋺のサイズおよび空気流量によって異なる場合があります。

SHAW S150-95 - 汎用エアゾールスプレー接着剤：

次の被着材の施工に推奨されている水性エアゾール接着剤です：ビニルシート、板材およびタイル、ビニル系タイル、または多孔質および非多孔質基板用コーベース。居住建築物にも使用でき、従来の接着剤に必要な取扱・使用工程を大幅に省略させます。極めて高い把持力とせん断強度を実現します

卓越した耐湿性（95% RH）、最大pH値11、可塑剤移行耐性を有し、スプレー塗布式なので鋺も塗装ローラーも必要ありません。VOCをまったく排出しないと算出されており、CRI Green Label Plus 認定製品です

内容物が高圧下にある、缶が破裂する恐れがあるため、直射日光が当たらず、熱源または裸火から離れた場所に、65°Fから95°F（18°Cから35°C）で適切に保管してください

Shaw S150 が凍結「しない」ようにしてください

有効期限：出荷時の包のまま保管された場合、2年

施工可能面積：130～150平方フィート/ガロン（約3.17～3.68 m²/リットル）

施工1時間後から熱溶接を行っていただけます

使用方法：

Corporate Headquarters +1 800 257 7429 | +1 706 532 7984 | Atlanta +1 404 853 7429 | Bengaluru +91 80 6773 0202 | Beijing +86 10 6568 5881 | Chicago +1 312 467 1331 | Dallas +1 972 587 4548 | Dubai +971 4 584 6956 | Hong Kong +852 2623 0371 | Latin America (Miami) +1 305 827 5912 | London +44 (0) 207 961 4120 | Los Angeles +1 800 233 2190 | Melbourne +61 3 9008 4401 | Mexico City +52 5010 7681 | Mumbai +91 22 6284 5050 | Nantong +86 400 800 7429 | Netherlands +31 20 26 20 955 | New York +1 212 953 7429 | Paris +33 181 224439 | San Francisco +1 415 955 1920 | Santiago +562 2431 5000 x 550 | São Paulo +55 11 3071 1702 | Shanghai +86 21 3338 4000 | Singapore +65 6733 1811 | Sydney +1 800 556 802

ShawContract®

よく振ってからお使いください – 内部に圧力が効かっているので取り扱い注意。Shaw S 150 は噴射時の方向制御が容易となっていますが、デリケートな表面および幅木はシールド材や適切なマスキング材で保護するようご注意ください

直立姿勢で立ち、缶が真っすぐに床を向くよう傾けた後、噴射ボタン部を押圧します

前後にゆっくりと移動しながら、接着剤が雪のように降るようスプレーを向けます。スプレーが適切なパターンで塗布できませんので、円を描くような動きでスプレーしないでください。接着剤が重なら「ない」ようにしてください。適切な被覆率となるよう、接着剤は均一に基盤に塗布する必要があります。*接着剤を正しく塗布できていない場合、接着剤の形状（でこぼこした表面）が床材上に形成・伝播される場合があります

床材の施工は、接着剤に触ると粘つき、指先に付着しない状態になるまでお待ちください。高湿・低温の環境下ではオープンタイムが長くなります。乾燥中、接着剤にホコリが付着しないようにしてください

作業時間は1時間を超えないようにしてください。ガイドラインに従って床材を施工してください

施工：施工が完了した直後に、適切な75~100ポンド（34~45.3 kg）の3セクション・ローラーを床材にかけてください

安全性と清掃：

乾ききっていないスプレー接着剤の飛沫や雲は、洗剤と水をきれいな布に染み込ませて取り除きます。シート状の乾燥した接着剤には、溶剤系接着剤除去剤が必要となる場合があります。使用と使用の間に乾燥した接着剤が蓄積するのを防ぐため、使用后すぐに濡れ布巾でスプレーの噴射口を拭いてください。空のアルミニウム製スプレー缶は内部の過剰圧力を下げ、各地域の要件に応じてリサイクルまたは廃棄してください。

重要：作業現場条件に従って接着剤の作業時間を測定するために、粘着試験の実施が推奨されています。粘着試験の強度により、Shaw 9050 床プライマーが必要か否かを確認できます。

9050- PH ブロッカー/床プライマー：9050 は過度のアルカリ性質を中和するよう開発されたアクリル溶液です。接着剤の過度な吸収を防ぎ、良好な接着効果を確保するプライマーコート剤としても推奨されています。抗菌剤配合の 9050 は、湿潤・乾燥状態を問わず、バクテリア、カビ、白カビを防止します。溶剤、アルコール、または OSHA 29 CFR 1910.1200.「規則第12条に基づく非光化学的反応性」記載のその他の有害物質も一切配合されていません。 4ガロン（3.78リットル）缶で発売中です。

レジリエントシートビニル製品

レジリエントシートビニル製品の施工

湿度検査が実施されており、AST M F 2170 に従って実施された検査の結果において、現場の相対湿度が90%（95% S150-95）を超えていないことを確認してください

コンクリート下張り床の表面 pH値は7~10の間でなければなりません

施工前7日間以上、施工中および施工後は、常設の冷暖房空調システムを65°F（20°C）以上または85°F（30°C）以下に設定し、常に稼働させる必要があります。施工後は、温度が85°F（30°C）以上にならないようにします

床材と接着剤は、最低でも施工の48時間前から施工エリアに馴染ませる必要があります。

Shaw 認定床材接着剤のみご使用ください

S150-95 スプレー接着剤を使用する場合を除き、1/16インチ（幅）x 1/32インチ（深さ）x 5/64インチ（間隔）（1.6 mm x 0.8 mm x 2.0 mm）の（U字型）クシ目鋸のみご使用ください

Corporate Headquarters +1 800 257 7429 | +1 706 532 7984 | Atlanta +1 404 853 7429 | Bengaluru +91 80 6773 0202 | Beijing +86 10 6568 5881 | Chicago +1 312 467 1331 | Dallas +1 972 587 4548 | Dubai +971 4 584 6956 | Hong Kong +852 2623 0371 | Latin America (Miami) +1 305 827 5912 | London +44 (0) 207 961 4120 | Los Angeles +1 800 233 2190 | Melbourne +61 3 9008 4401 | Mexico City +55 5010 7681 | Mumbai +91 22 6284 5050 | Nantong +86 400 800 7429 | Netherlands +31 20 26 20 955 | New York +1 212 953 7429 | Paris +33 181 224439 | San Francisco +1 415 955 1920 | Santiago +562 2431 5000 x 550 | São Paulo +55 11 3071 1702 | Shanghai +86 21 3338 4000 | Singapore +65 6733 1811 | Sydney +1 800 556 302

ShawContract®

材料は施工前に必ず目視点検する必要があります。瑕疵が視認できる状態で施工されたいかなる材料も、人件費に関係があることから、正当な苦情とはみなされません

Shaw のシート製品は寸法安定性を備えています。収縮または圧縮しません。施工前に、作業現場の平らな場所に材料を広げた状態で24時間置いておくよう推奨しています

すべてのカットおよびロールを連続した順序で施工してください

施工の向きは実際のレイアウトにより異なります。適切な向きについては、製品仕様書をご参照ください

施工前に下張り床に関する推奨事項および作業現場条件をすべて満たしているか確認してください。施工を開始した時点で、これらの条件を承諾したものとします

注記：施工後は床用保護材の使用を推奨しています。プラスチック接着剤系保護材は使用「しない」でください。

シートの切断および取り付け

シートを上手く施工するため、施工エリアを計測し、管理線を特定して引きます

両端の壁上に2インチ (5 cm) づつシートが立ち上がるのに十分な丈を含め、必要な長さだけロールを切断します

逆側の壁に超過分の丈を立ち上げ、施工を開始する壁のできるだけ近くまでシートの丈を押しします

依然として管理線と材料の位置が揃っている必要があります

施工開始点の壁に沿って材料の上に直定規を置き、直定規に沿って切断します。この切断テクニックはディレクトスクライブです。切断方法として、パターンスクライビング、スリーウォールスクライビング、パーキリの使用およびフリーハンドでの切断も行っていただけます

位置が揃った状態を維持しながら、調節したシートを施工開始点の壁にそっと押しします

施工開始点の壁とは反対側の壁の丈を、フリーハンドで切断します。切断方法として、パターンスクライビングおよびディレクトスクライブも行っていただけます。残りの施工エリアも、引き続き材料をパターンスクライビング、ディレクトスクライブまたはフリーハンドで切断します

シートの幅/長さを広げることも可能です。折り目をつけないために、材料を折り曲げ「ない」ようご注意ください。裏がビニル製の床材にバックロールは行わ「ない」でください

適切に接着剤を塗布するには、塗布するエリアに沿って白のチョークラインを引いてください。均一かつ直線状に接着剤を塗布することができます

油性マーカーは使用「しない」でください

壁に向かって床材を接着剤の上に慎重に置きます。「材料を接着剤の上に落とすように置かないでください」—空気が中に入り、気泡の原因となる恐れがあります

材料を接着剤の上に置いた後、スクライブ用のナイフまたはピンを使用して、継ぎ目部分をリセススクライブします

ナイフの刃を真すぐに上下に動かし、仕上げの切断を行います。「シート材を下まで切らないでください」

室内の別の継ぎ目にも、同じ手順を繰り返します

接合部が確実に平らな状態になるよう、端接合部はマッサージしながら丸めることを推奨しています。端接合部に重しを置くことで、接着剤が固まる際に適切な接着を確保できます

施工後すぐに、両側の継ぎ目の手前6インチ (1.52 cm) までの接着剤を使用したエリアに100ポンド (45.3 kg) の3セクションローラーをかけます。継ぎ目の端が他のエリアと同じ高さになるまで、継ぎ目エリアに手用の圧着ローラーをかけます。接着剤の作業時間内に、接着剤を使用したエリア全体に100ポンド (45.3

Corporate Headquarters +1 800 257 7429 | +1 706 532 7984 | Atlanta +1 404 853 7429 | Bengaluru +91 80 6773 0202 | Beijing +86 10 6568 5881 | Chicago +1 312 467 1331 | Dallas +1 972 587 4548 | Dubai +971 4 584 6956 | Hong Kong +852 2623 0371 | Latin America (Miami) +1 305 827 5912 | London +44 (0) 207 961 4120 | Los Angeles +1 800 233 2190 | Melbourne +61 3 9008 4401 | Mexico City +55 5010 7681 | Mumbai +91 22 6284 5050 | Nantong +86 400 800 7429 | Netherlands +31 20 26 20 955 | New York +1 212 953 7429 | Paris +33 181 224439 | San Francisco +1 415 955 1920 | Santiago +562 2431 5000 x 550 | São Paulo +55 11 3071 1702 | Shanghai +86 21 3338 4000 | Singapore +65 6733 1811 | Sydney +1 800 556 802

ShawContract®

kg) のローラーを再度かけます。適切な接着を確保するため、作業日は終日ローラーをかけ続けます

Shaw シート床材の熱溶接は、常時推奨されています

4100/4151 を使用した場合は翌日に、S150-95 を使用した場合は1時間後に継ぎ目を熱溶接します。熱溶接施工方法をご参照ください。スクライビングテクニックまたは熱溶接に詳しくない場合は、Shaw product support までご連絡ください

注記：材料の適切な接着の確保するため、壁に隣接した部分の材料は手用圧着ローラーで圧着するように推奨しています。

継ぎ目処理：

継ぎ目は、直定規/パーキリにより片側を切断して2枚めのシートをリセススクライプする方法、または重複・二重切断方法を用いて切断できます。

リセススクライプ方法 - 模様のない材料の場合、直定規と鋭利なナイフまたはパーキリを使用して、継ぎ目の耳縁部の内1つを約 1/2 インチ (12.7 mm) 切り取ります。適切な余剰分の長さを残して、2枚目のシートを切断します。

継ぎ目で、1枚目のシートの上に1/2~1インチ (12.7~25.4 mm) 重なるよう2枚目のシートを置きます。継ぎ目がカミソリ刃の半分程の厚さのわずかな隙間を有するように、リセススクライプを設定します。隙間を大きく切りすぎると、気泡や隆線を引き起こします。継ぎ目をリセススクライプします。エリアを完了するのに必要な枚数分だけ、この手順を繰り返します

二重切断方法 - 直定規と新しいカミソリ刃を使用し、ナイフを真っすぐ上下に動かして2枚同時に切断します。上のシートを切断するのと同時に下のシートの半分の厚さまで切り込みをいれ、フック型ナイフで仕上げる方法も使用可能です

模様付きの材料の場合、模様の幅と長さに合わせて耳縁部を重ねます。木目材は、板材の面取り部の端に合わせます。継ぎ目エリアの下に幅 4 インチ (10.1 cm) の材料小片を置きます。板材の先端面取り部の上に直定規を直接置きます。新しいカミソリ刃を使用し、ナイフを真っすぐ上下に動かして2枚同時に切断します。上のシートを切断するのと同時に下のシートの半分の厚さまで切り込みをいれ、フック型ナイフで仕上げる方法も使用可能です

注記：「継ぎ目がカミソリ刃の半分程の厚さのわずかな隙間を有するように、リセススクライプを設定します。隙間を大きく切りすぎると、気泡や隆線を引き起こします。製品の端を工場出荷時のままつなぎ合わせないでください。」

熱溶接：

熱溶接は継ぎ目、張り出し、面木の推奨処理方法です。

専門家が継ぎ目を熱溶接することにより、強度と防水性を備えており、衛生的かつ一体化した表面がもたらされます

溶接棒 (4 mm) はシート床材と同じ温度で溶融するよう設計されており、両材料を熱により融合させます

Shaw 4100/4151 を使用した場合は、施工24時間後に熱溶接を行う必要があります。Shaw S150-95 の場合は、施工完了から1時間後に熱溶接を行っていただけます

継ぎ目の端はわずかに隙間がある状態で、その断面が垂直である必要があります。継ぎ目の隙間が広い場合や、シート材の底まで切れ目がはいつている場合、溶接の質が低下します

溝の深さは材料の厚みの1/2~2/3 である必要があります。3.5 mm の溝切りを使用してください。溝が深くなりすぎないようにご注意ください。また、溝は2枚のシートの端に沿って、両端の中央に位置していなければなりません。これは、適切な強度と溶接棒の接合を確保する上で、非常に重要となってきます

ホコリを含むいかなる異物も付着していないよう、溝を十分に清掃してください

Corporate Headquarters +1 800 257 7429 | +1 706 532 7984 | Atlanta +1 404 853 7429 | Bengaluru +91 80 6773 0202 | Beijing +86 10 6568 5881 | Chicago +1 312 467 1331 | Dallas +1 972 587 4548 | Dubai +971 4 584 6956 | Hong Kong +852 2623 0371 | Latin America (Miami) +1 305 827 5912 | London +44 (0) 207 961 4120 | Los Angeles +1 800 233 2190 | Melbourne +61 3 9008 4401 | Mexico City +55 5010 7681 | Mumbai +91 22 6284 5050 | Nantong +86 400 800 7429 | Netherlands +31 20 26 20 955 | New York +1 212 953 7429 | Paris +33 181 224439 | San Francisco +1 415 955 1920 | Santiago +562 2431 5000 x 550 | São Paulo +55 11 3071 1702 | Shanghai +86 21 3338 4000 | Singapore +65 6733 1811 | Sydney +1 800 556 902

ShawContract®

熱溶接に十分な温度を維持する業務用溶接装置のみをご使用ください。4 mm の細型予熱式ノズルが必要です

溶接前に溶接ガンを予熱してください。450°Cに予熱した後、温度を上下に調整します

溶接温度および速度を微調整するため、切れはしで練習してください。延長コードが長い場合、溶接温度の設定に影響を与える場合があります

溶接棒が実際に溝に融合するか確かめ、適切な溶接速度を決定します。練習用切れはし上で、溝から接合部を取り出してみてください。棒を溝から取り出せた場合は、溝から取り出せなくなるまで温度を調整します

ノズルは施工した床と並行な状態でなければなりません。ビニルの表面と溶接棒の両接触部に小さな隆線が形成されていなければなりません。隆線が形成されない場合、継ぎ目を正しく熱溶接していません

溶接棒がまだ暖かい間に、余盛り部分の半分をスパトラナイフまたは Mozart スカイバーで削り取ります。削り取りは、1回の連続した動作で行ってください

溶接棒は室温まで冷えた後、非常に鋭いスパトラナイフまたは Mozart スカイバーで、仕上げの削り取りを行います。仕上げも、1回の連続した動作で行ってください

化学溶接：

継ぎ目が完全に清潔で乾燥していることを確認してください

シーリング材の中身をすべてアプリーケーターボトルに注ぎ、すべての気泡を消散させます

アプリーケーターのノズルを継ぎ目に挿入します。ボトルに一定の圧力をかけながら安定した速度で引き戻し、シーツの端を塞ぐのに十分な量のシーリング材を、継ぎ目の表面に小さな溶接ビード (1/8インチ：3.17 mm) が残るように塗布します

24時間以上経過するまで、継ぎ目の上に何も乗らないようにしてください

巻き上げ施工：

巻き上げは、シート床材を壁の巾木部分まで拡張し、床材で巾木を形成する工法です

巻き上げたエリアの継ぎ目は、他の施工の継ぎ目と同様に処理する必要があります

4～6インチ (10.1 cm～15.2 cm) の巻き上げが一般的です。6インチ (15.2 cm) を超える高さの巻き上げ施工については、各地域で適用される建築基準法をご確認ください

巻き上げたエリアでは、4100、4151 または S150 接着剤をご使用ください。壁および面木エリアに接着剤を塗布する際は、ブラシまたはローラーを使用します

接着剤には、通常約10～15分のオープンタイムを設けなければなりません

接着剤に材料を取り付けた後、接着剤に確実に接触するよう手用ローラーを使用してください

レジリエントタイルおよび板材製品

湿度検査が実施されており、AST M F 2170 に従って実施された検査の結果において、現場の相対湿度が95%を超えていないことを確認してください。コンクリート下張り床のpH値は7～10の間でなければなりません

施工前7日間以上、施工中および施工後は、常設の冷暖房空調システムを65°F (20°C) 以上または85°F (30°C)以下に設定し、常に稼働させる必要があります。施工後は、温度が85°F (30°C) 以上にならないようにします

5箱以上の高さに積み重ねないでください

床材と接着剤は、最低でも施工の48時間前から施工エリアに馴染ませる必要があります

1/16インチ (幅) x 1/32インチ (深さ) x 5/64インチ (間隔) (1.6 mm x 0.8 mm x 2.0

Corporate Headquarters +1 800 257 7429 | +1 706 532 7984 | Atlanta +1 404 853 7429 | Bengaluru +91 80 6773 0202 | Beijing +86 10 6568 5881 | Chicago +1 312 467 1331 | Dallas +1 972 587 4548 | Dubai +971 4 584 6956 | Hong Kong +852 2623 0371 | Latin America (Miami) +1 305 827 5912 | London +44 (0) 207 961 4120 | Los Angeles +1 800 233 2190 | Melbourne +61 3 9008 4401 | Mexico City +55 5010 7681 | Mumbai +91 22 6284 5050 | Nantong +86 400 800 7429 | Netherlands +31 20 26 20 955 | New York +1 212 953 7429 | Paris +33 181 224439 | San Francisco +1 415 955 1920 | Santiago +562 2431 5000 x 550 | São Paulo +55 11 3071 1702 | Shanghai +86 21 3338 4000 | Singapore +65 6733 1811 | Sydney +1 800 5561902

ShawContract®

mm) の (U字型) クシ目鋳のみご使用ください (鋳が必要にならない S150-95 スプレー接着剤を使用する場合を除く) 材料は施工前に必ず目視点検する必要があります。瑕疵が視認できる状態で施工されたいかなる材料も、人件費に関係があることから、正当な苦情とはみなされません
すべての材料が同じバッチ番号からのものであることを確認してください。タイルが同じ方向を向くように施工してください (矢印はタイルの裏面に記載されています)
施工開始前に、下張り床に関する推奨事項および作業現場条件をすべて満たしているか確認してください。指向設計は任意となっておりますが、施工を開始した時点で、これらの条件を承諾したものとします

レイアウトおよび施工：

Shaw タイルおよび板材 - 従来のタイルおよび板材施工テクニックを使用して、施工します。板材製品は6~8インチ (15.2 cm~20.3 cm) 以上継ぎ目をずらして配置する必要があります

タイルまたは板材の施工の開始位置を注意深く決めます

慣習的方法では、部屋や廊下の中央に開始位置を置き、最後に貼るタイルや板材が半分以下のサイズにならないようにします。1度に複数の箱の材料を使用して、作業を行うよう推奨しています

廊下や狭いスペースでは、中央の参照線をガイドとして使用し、一方の端から縦方向に作業する方が簡単な場合があります

切り口が常に壁に向けられていることを確認してください

LVT/LVP 製品を適切に切断するには、カッターナイフで材料の上面に線を引きます。製品を曲げ、裏面から仕上げに切断します。これにより、最もきれいな切断面を確保できます。垂直障害物の周囲の切断には、ヒートガンの使用が必要となる場合があります。加熱した LVT/LVP は、施工前に室温に戻します

製品を細く切断した場合、剥離を引き起こす恐れがあります。LVT /LVP の先端部を融合させるには、シアノアクリル酸エチル系強力瞬間接着剤をご使用ください。必ずすべての接着剤をすぐに上面から拭き取ってください。アルコール系強力瞬間接着剤はビニルの膨張の原因となる恐れがあります

板材/タイルに100ポンド (45.3 kg) の3セクションローラーをかけます。接着剤の作業時間内に、接着剤を使用した床エリア全体に100ポンド (45.3 kg) のローラーを再度かけます。適切な接着を確保するため、作業日は終日ローラーをかけ続けます
注記：工事またはリフォーム中、床の保護にテープを使用するのはおやめください。床の保護にはラムボードや他の類似製品をご使用ください。

Shaw は購入日から10年間、当社のシーツ、タイルおよび溶接棒に製造上の瑕疵がないことを保証します。Shaw は、施工者の技量に対する保証はしてしません。技量上の過失は、床の施工を行った請負業者が対処するものとします。Shaw 商用床材は、商用床材の施工に関する専門性を実証した請負業者により、専門的に施工される必要があります。保証、制限および諸条件に関する詳細情報については、カスタマーサポートにお問い合わせください：.

Corporate Headquarters +1 800 257 7429 | +1 706 532 7984 | Atlanta +1 404 853 7429 | Bengaluru +91 80 6773 0202 | Beijing +86 10 6568 5881 | Chicago +1 312 467 1331 | Dallas +1 972 587 4548 | Dubai +971 4 584 6956 | Hong Kong +852 2623 0371 | Latin America (Miami) +1 305 827 5912 | London +44 (0) 207 961 4120 | Los Angeles +1 800 233 2190 | Melbourne +61 3 9008 4401 | Mexico City +55 5010 7681 | Mumbai +91 22 6284 5050 | Nantong +86 400 800 7429 | Netherlands +31 20 26 20 955 | New York +1 212 953 7429 | Paris +33 181 224439 | San Francisco +1 415 955 1920 | Santiago +562 2431 5000 x 550 | São Paulo +55 11 3071 1702 | Shanghai +86 21 3338 4000 | Singapore +65 6733 1811 | Sydney +1 800 556 302